

小児科

(1) スタッフの紹介、資格

2010年4月1日小田紘嗣、上田和利、柴田洋史、三上真充、谷口昌志、海老島宏典が着任、2011年3月31日山本景子、海老島宏典、松岡道生、吉田葉子、西田仁が退職、2011年4月1日渡辺健、野間治義、友滝清一、本田吉孝、土橋麻由子、金子直人、壹岐陽一、2011年5月16日内尾寛子が着任し現在の体制に至っている。

部長 秦 大資： 日本小児科学会認定専門医、日本アレルギー学会認定専門医、
日本アレルギー学会認定指導医、日本小児アレルギー学会評議員
京都大学臨床教授

循環器部門部長

渡辺 健： 日本小児科学会認定専門医、日本小児循環器学会評議員、
日本小児肺循環研究会幹事、大阪胎児心臓スクリーニング研究会幹事

感染症部門部長

羽田敦子： 日本小児科学会認定専門医、ICD(infection control doctor)、
日本感染症学会感染症専門医・暫定指導医、日本夜尿症学会理事

副部長 塩田光隆： 日本小児科学会認定専門医、日本血液学会認定血液専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

副部長 吉岡孝和： 日本小児科学会認定専門医、日本アレルギー学会認定専門医

副部長 水本洋： 日本小児科学会認定専門医、
日本NCPR(新生児蘇生法)コアインストラクター
PALS(Pediatric Advanced Life Support)インストラクター
日本周産期新生児医学会認定周産期(新生児)専門医
京都大学小児科学教室非常勤講師

副部長 野間治義： 日本小児科学会認定専門医、日本血液学会認定血液専門医

副部長 熊倉啓： 日本小児科学会認定専門医、日本小児神経学会認定小児神経科専門医

副部長 内尾寛子： 日本小児科学会認定専門医

医員 中村由恵： 日本小児科学会認定専門医

レジデント 中田昌利

レジデント 明石良子

レジデント 濱端隆行

レジデント 小田紘嗣

レジデント 上田和利

レジデント 柴田洋史

レジデント 三上真充

レジデント 谷口昌志
レジデント 壹岐陽一
レジデント 金子直人
レジデント 土橋麻由子
レジデント 友滝清一
レジデント 本田吉孝

(2) 診療体制

午前に一般外来、午後に各種専門外来、乳児検診、予防接種外来を行なっている。アレルギー外来を水曜日に吉岡、金曜日に秦が担当し、循環器外来（火、金）、胎児心臓エコー外来（金）を渡辺、腎臓・夜尿外来（水）を羽田、血液外来（月）を塩田、神経外来（木・金）を熊倉、内分泌・代謝外来（月）を中村、（第1木）を河井（非常勤医師、京都大学小児科）が担当している。

2010年度の外来患者数、時間外受診患者数、救急搬送患者数、入院患者数、平均在院日数、疾患別入院患者数、主たる疾患別平均在院日数は以下の表の通りである。2010年度の入院患者数 2463名（対前年比 188名、8.3%増）、外来患者数 30454名（対前年比 968名、3.3%増）であった。

(3) 教育

当科は日本小児科学会認定小児専門医研修施設、日本小児科学会認定小児専門医研修支援施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本周産期・新生児医学会指定研修施設、日本小児神経学会認定小児神経専門医研修施設として認定されており、小児科各領域専門医が研修医の教育を行なっている。

定期的教育活動

部長 秦 大資 京都大学医学部小児科臨床教授
副部長 水本 洋 京都大学医学部小児科非常勤講師

院内勉強会

小児科産婦人科合同カンファレンス 月1回
小児科医師看護師合同カンファレンス 月1回

(4) 学会・講演・著作その他の研究活動

2010年度

論文発表

1. Rapid detoxification of cereulide in *Bacillus cereus* food poisoning. Shiota M, Saitou K, Mizumoto H, Matsusaka M, Agata N, Nakayama M, Kage M, Tatsumi S, Okamoto A, Yamaguchi S, Ohta M, Hata D. *Pediatrics*. 2010;125(4):e951-5.

2. Dying spell caused by vascular ring. Chihiro Iida, Mitsutaka Shiota, Daisuke Hata. BMJ Case Reports online 29 April 2010, doi:10.1136
3. Focal segmental glomerulosclerosis in a boy with Dent-2 disease. Kaneko K, Hasui M, Hata A, Hata D, Nozu K. Pediatr Nephrol. 2010;25(4):781-2.
4. Characterization of chronic idiopathic thrombocytopenic purpura in Japanese children: a retrospective multi-center study. Kubota M, Adachi S, Usami I, Okada M, Kitoh T, Shiota M, Taniguchi Y, Tanizawa A, Nanbu M, Hamahata K, Fujino H, Matsubara K, Wakazono Y, Nakahata T. Int J Hematol. 2010;91(2):252-7.
5. Measuring quality of care for infants less than 3 months old with fever using quality indicator. Mishina H, Ozaki M, Hayashino Y, Sakamoto K, Nishida H, Hata D, Fujikawa J, Goto M, Ueba T, Fukuhara S. Pediatr Int. 2011 Mar 21.
6. Clinical and MRI characteristics of acute encephalopathy in congenital adrenal hyperplasia. Lee S, Sanefuji M, Watanabe K, Uematsu A, Torisu H, Baba H, Kira R, Takada Y, Ishizaki Y, Toyoshima M, Aragaki F, Hata D, Hara T. J Neurol Sci. 2011 Apr 13
7. Depressed levels of interferon-gamma and HLA-DR+CD3+ T cells in infants with transient hyperferritinemia. Shiota M, Kumakura A, Mizumoto H, Asada J, Nakagawa K, Takuwa M, Morishima T, Nishida H, Yoshioka T, Hata A, Hata D. Pediatr Hematol Oncol. 2011;28(3):209-16.
8. 南方俊祐、羽田敦子、中川権史、西田仁、多久和麻由子、森嶋達也、熊倉啓、吉岡孝和、塩田光隆、秦大資 皮下感染から化膿性髄膜炎を併発した後頭部先天性皮膚洞の1例 日本小児科学会雑誌. 114 巻 5 号 869-872 頁 2010 年
9. 水本洋、明石良子、中田昌利、濱端隆行、松岡道生、末永英世、匹田典克、山本景子、飯田ちひろ、吉岡耕平、寺岡由恵、西田仁、熊倉啓、吉岡孝和、吉田葉子、塩田光隆、羽田敦子、大村真曜子、道之前八重、秦大資. 一過性高インスリン血性低血糖症5例の経過とその病態と管理方針に関する考察. 日本小児科学会雑誌. 114 巻 6 号 975-80 頁 2010 年
10. 塩田光隆、西田仁、寺岡由恵、熊倉啓、水本洋、吉田葉子、吉岡孝和、羽田敦子、秦大資 アデノイド・扁桃腺摘出後の出血傾向の精査から抗リン脂質抗体を一過性に発現した血友病 A 保因者と判明した1例 日本小児血液学会誌 第 25 巻 1 号 36-41 頁 2011 年

学会発表、講演

1. 羽田敦子 新型インフルエンザ対策としての S-OIV ワクチン接種について 第 84 回日本感染症学会・総会・学術集会 (京都国際会館) 2010 年 4 月 5 日 (月) ~ 2010 年 4 月 6 日 (火)
2. 塩田光隆、斉藤景子、水本洋、西田仁、熊倉啓、吉田葉子、吉岡孝和、羽田敦子、秦大資 死亡例も認めたセレウス菌による嘔吐型食中毒の 3 症例 第 113 回日本小児科学会学術集会 (岩手市民文化ホール、いわて県民情報交流センター) 2010 年 4 月 23 日 ~ 25 日
3. 松岡道生、熊倉啓、秦大資 基底核病変が先行した、アデノ 5 型感染に伴うけいれん重積型

脳症(AESD)の1例 第113回日本小児科学会学術集会(盛岡市民文化ホール、いわて県民情報交流センター)平成22年4月23-25日

4. 水本洋、末永英世、吉岡耕平、吉岡孝和、秦大資 新生児蘇生法講習会受講者のセルフエフィカシーの変化に関する検討. 第113回日本小児科学会学術集会. 2010年4月23日盛岡
5. 水本洋、明石良子、中田昌利、濱端隆之、松岡道生、末永英世、匹田典克、山本景子、飯田ちひろ、吉岡耕平、寺岡由恵、西田仁、熊倉啓、吉岡孝和、吉田葉子、塩田光孝、羽田敦子、秦大資 重篤な新生児一過性高インスリン血性低血糖症の6症例. 第113回日本小児科学会学術集会. 2010年4月25日盛岡
6. 羽田敦子 水痘・帯状疱疹とワクチン ～水痘ワクチンをどう使う～【第2回近畿ヘルペス感染症研究会学術講演会】 ANA クラウンプラザホテル大阪(旧大阪全日空ホテル) 2010年6月3日(木)
7. 吉岡耕平、吉岡孝和、明石良子、吉田葉子、羽田敦子、秦大資 「心房内血栓症を合併した抗リン脂質抗体症候群・混合性結合組織病の一例」第22回日本アレルギー学会春季臨床大会平成22年5月 京都
8. 山本景子、羽田敦子 2次性夜尿を主訴に来院した甲状腺機能亢進症の一例 第21回日本夜尿症学会(大阪リバーサイドホテル) 2010年6月26日(土)
9. 羽田敦子 アラーム療法中途脱落回避のための電話相談の効果について 第21回日本夜尿症学会(大阪リバーサイドホテル) 2010年6月26日(土)
10. 水本 洋 第6回医学生・若手医師のための小児科診療最前線～新生児医療から高度先端医療・移植医療まで～「NICU ケースシナリオ～新生児医療の魅力がわかる症例集～」2010年6月26日北野病院
11. Hiroshi Mizumoto, Ryouko Akashi, Dausuke Hata Reconsideration of the diagnostic criteria of hyperinsulinemic hypoglycemia in early newborn period. 第46回日本周産期新生児医学会(international session). 2010年7月12日神戸
12. Ryouko Akashi, Hiroshi Mizumoto, Norikatsu Hikita, Kohei Yoshioka, Akira Kumakura, Yoko Yoshida, Takakazu Yoshioka, Daisuke Hata A case of newborn who showed hypotonia and recurrent seizures 第46回日本周産期新生児医学会(international session). 期間:平成22年7月11日(日)～13日(火) 神戸
13. 友滝清一 三上真充 塩田光隆 秦 大資 喘息として他院でフォロー中に 急性呼吸不全から人工呼吸管理に至った前縦隔腫瘍の2歳女児例 第43回京大小児科関連懇話会 2010/7/17 大阪
14. 三上 真充、小田紘嗣、松岡道生、熊倉啓、秦大資 ロタウイルス小脳炎の2例 第43回京大小児科関連懇親会 平成22年7月17日(土) 大阪
15. 吉岡孝和、松岡道生、塩田光隆、秦大資 全身型若年性特発性関節炎を疑う一例 第15回 近畿小児リウマチ・膠原病研究会 平成22年 9月 大阪
16. 水本洋、谷口昌志、明石良子、濱端隆行、松岡道生、中田昌利、山本景子、寺岡由恵、西田

仁、吉田葉子、吉岡孝和、塩田光隆、羽田敦子、秦大資 . 生後 48 時間以内に低血糖を呈する新生児の血中ケトン体およびインスリンに関する検討. 第 4 回新生児内分泌研究会. 2010 年 9 月 19 日東京

17. 水本洋、谷口昌志、明石良子、濱端隆行、松岡道生、中田昌利、山本景子、寺岡由恵、西田仁、吉田葉子、吉岡孝和、塩田光隆、羽田敦子、秦大資 抜管成功後に呼吸状態が悪化した超低出生体重児例. 第 3 回京都大学新生児科関連施設懇話会. 2010 年 9 月 25 日京都
18. 熊倉啓、藤井克則、宮下俊之、秦大資 anterior fontanelle bone を伴った Gorlin 症候群の 1 女児例 第 48 回 日本小児神経学会近畿地方会 (ムーブ 21 守口市生涯学習情報センター) 平成 22 年 10 月 9 日
19. 小田紘嗣 三上 真充 濱端 隆行 塩田 光隆 秦 大資 喘息として他院でフォロー中に急性呼吸不全から人工呼吸管理に至った前縦隔腫瘍の 2 歳女児例 第 23 回北野小児科学術講演会 2010/10/30 大阪
20. 中田昌利 上田和利 海老島宏典 柴田洋史 谷口昌志 三上真充 明石良子 小田紘嗣 濱端隆行 松岡道生 寺岡由恵 西田仁 熊倉啓 水本洋 吉岡孝和 吉田葉子 塩田光隆 羽田敦子 秦大資 硬膜下膿瘍をきたした乳児大腸菌性髄膜炎の 2 例 第 23 回北野小児科学術講演会 大阪 2011/10/30
21. 三上 真充、小田紘嗣、松岡道生、熊倉啓、秦大資 ロタウイルス小脳炎の 2 例 第 23 回北野小児科学術講演会 平成 22 年 10 月 30 日(土)
22. 金子直人、池野観寿、佐藤誠一、阿部裕樹、上原由美子、阿部時也 新型インフルエンザウイルス (パンデミック (H1N1) 2009) に感染し特に重症な経過をとった 2 児例 第 43 回日本小児呼吸器疾患学会 2010 年 10 月 29-30 日 福岡
23. 吉岡孝和 「食物アレルギーの最近の話題」 茨木市医師会学校医部会総会・講演会 平成 22 年 11 月 大阪
24. 水本洋、谷口昌志、上田和利、柴田洋史、三上真充、明石良子、濱端隆行、松岡道生、中田昌利、小田紘嗣、山本景子、海老島宏典、寺岡由恵、西田仁、熊倉啓、吉田葉子、吉岡孝和、塩田光隆、羽田敦子、秦大資 血糖持続モニタリングシステムの使用経験. 第 55 回日本未熟児新生児医学会学術集会. 2010 年 11 月 6 日神戸
25. 谷口昌志、水本洋、秦 大資 一過性高インスリン血症と呼吸循環障害、血小板減少、凝固能異常を合併した SGA 6 例. 第 55 回日本未熟児新生児医学会学術集会. 2010 年 11 月 7 日神戸
26. 松岡道生、吉田葉子、水本洋、吉岡孝和、秦大資 重症新生児遷延性肺高血圧 (PPHN) に経口シルデナフィル (S I L) 投与を行った一例: 重症児に対する適正用法と副作用について 第 55 回日本未熟児新生児医学会学術集会. 2010 年 11 月 7 日神戸
27. 羽田敦子 保育施設における積極的水痘予防接種勧奨の経年的影響 第 42 回日本小児感染症学会総会・学術集会 (仙台国際センター) 2010 年 11 月 27 日 (土) ~ 2010 年 11 月 28 日 (日)

28. 壹岐陽一, 齊田美希, 岡田麻衣子, 津田安都子, 松浦基夫, 大成功一, 金万和志 ランブル鞭毛虫症が慢性下痢の原因であった慢性透析患者の1例 第193回日本内科学会近畿地方会 2010年12月4日 神戸
29. 羽田敦子 小児科医師における新型インフルエンザワクチンの免疫応答 第14回日本ワクチン学会学術集会 2010年12月11日(土)~2010年12月12日(日) 東京
30. 小田紘嗣, 塩田光隆, 友滝清一, 三上真充, 秦大資 喘息として他院でフォロー中に急性呼吸不全から人工呼吸管理に至った前縦隔腫瘍の2歳女児例 第52回日本小児血液学会 2011年12月17日~19日 大阪
31. 渡辺 健, 鶴見文俊, 美馬隆宏, 石原温子, 吉林宗夫 術後肺静脈閉塞に対する前方視的な経皮的ステント留置術とメンテナンス再拡大術の中期予後 第22回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会学術集会 2011年1月20日(木)~22日(土) 岡山
32. 渡辺 健 他 STIC を用いた胎児先天性心疾患の遠隔診断における生後陽性例の検討 第17回日本胎児心臓病学会学術集会 平成23年2月18日(金)~19日(土) 旭川
33. 水本洋, 上田和利, 柴田洋史, 三上真充, 松岡道生, 秦大資 高インスリン血性低血糖症の診断基準の問題点. 第278回NMCS例会 2011年2月25日 大阪
34. 上田和利, 水本洋, 柴田洋史, 三上真充, 松岡道生, 宮内雄也, 佐藤正人, 秦大資 食道閉鎖にダンピング症候群を合併し, 血糖管理に難渋している一例. 第278回NMCS例会 2011年2月25日 大阪
35. 小田紘嗣, 水本洋, 三上真充, 秦大資 Early aggressive nutrition中に重篤な低リン血症を合併した超低出生体重児の1例. 第17回未熟児新生児医療研究会. 2011年3月12日京都
36. 上田和利, 水本洋, 松岡道生, 小田紘嗣, 羽田敦子, 秦大資 高インスリン血性低血糖症を認め, 新生児期に診断された Sotos 症候群の1例 第24回近畿小児科学会 2011年3月13日 神戸
37. 中田昌利 海老島宏典 山本景子 熊倉啓 羽田敦子 秦大資 初回髄液検査で髄液細胞増多を伴わなかった化膿性髄膜炎の1例 第24回近畿小児科学会 2011/3/13 神戸
38. 柴田洋史, 西田 仁, 明石良子, 寺岡由恵, 熊倉 啓, 吉岡孝和, 吉田葉子, 塩田光隆, 羽田敦子, 秦 大資 吸気性喘鳴にて発見された喉頭蓋直上・舌根部正中に生じた正中頸嚢胞の一例 第24回近畿小児科学会 2011年3月13日 神戸
39. 中田昌利, 塩田光隆, 三上真充, 吉岡孝和, 秦大資 小球性貧血を契機に診断されたサラセミアの2例 第24回近畿小児科学会 2011年3月13日 神戸
40. 小田紘嗣, 塩田光隆, 三上真充, 濱端隆行, 秦大資 喘息として他院でフォロー中に急性呼吸不全を来した前縦隔腫瘍の2歳女児例 第24回近畿小児科学会 2011年3月13日神戸
41. 濱端隆行, 塩田光隆, 谷口昌志, 松岡道生, 西田仁, 水本洋, 宮内雄也, 佐藤正人, 秦大資 気道圧迫を呈し治療に難渋した後縦隔原発の先天性神経芽腫の一例 第24回近畿小児科学会 2011年3月13日 神戸
42. 松岡道生, 吉岡孝和, 柴田洋史, 中村由恵, 西田仁, 水本洋, 熊倉啓, 吉田葉子, 塩田光隆,

羽田敦子、秦大資 全身型若年性特発性関節炎 (sJIA) と考えた 14 歳女児の一例 第 24 回
 近畿小児科地方会 平成 23 年 3 月 13 日 神戸

<院内外向け教育活動>

●新生児蘇生法 NCPR 「一次」 コース出張講習会 (5 回)

たかばたけウィメンズクリニック 2010 年 5 月 17 日

萱嶋生野病院

恵生会病院

宮本レディースクリニック

川島産婦人科クリニック 2011 年 3 月 4 日

●新生児蘇生法 NCPR 「専門」「一次」 コース院内講習会 (3 回)

著書

羽田敦子

当院における夜尿症診療の実態と小児科開業医における治療体系

夜尿症研究 第 15 卷 (75-) 2010 年、 株式会社メディカルトリビューン

(5) 院外活動、地域医療との関わり

大阪府国保支払い基金審査医 秦 大資

第 6 回医学生・若手医師の為の小児科診療最前線

2010 年 6 月開催 座長 秦大資

小児科主催学術講演会 年 1 回 (2010 年 10 月開催) 座長 秦大資

小児免疫アレルギー研究会主催 年 1 回 (2011 年 2 月開催) 代表世話人 秦大資

小児気管支喘息研究会 年 1 回 (2011 年 3 月開催) 世話人 吉岡孝和 他

京大臨床アレルギー研究会 年 1 回 (2011 年 3 月開催) 世話人 秦大資 他

2010 年度疾患別入院患者数 (総数 2463 名)			
感染症	463	新生児	285
咽頭炎、扁桃炎	154	<出生体重別>	
中耳炎	22	超低出生体重児 (~999g)	5
急性喉頭炎、クループ	62	極低出生体重児 (1,000~1,499g)	16
A 群 β 溶連菌感染症	14	低出生体重児 (1,500~2,499g)	90
頸部化膿性リンパ節炎	20	出生体重 2,500g 以上	174
ぶどう球菌性皮膚熱傷様症候群、蜂窩織炎	9	(詳細は NICU 入院患者に別掲)	
百日咳	2	アレルギー・免疫	341
敗血症	7	気管支喘息	139

細菌性髄膜炎	8	喘息性気管支炎	105
細菌性関節炎(股関節、肩関節)	4	川崎病	39
インフルエンザ	60	マクロファージ活性化症候群	2
アデノウイルス感染症	24	SLE	2
無菌性髄膜炎(ムンプス髄膜炎 23名)	39	若年性皮膚筋炎	2
ムンプス耳下腺炎	5	混合性結合組織病	1
水痘、帯状疱疹	7	若年性関節リウマチ	2
ヘルパンギーナ	3	リウマチ熱	1
ヘルペス歯肉口内炎	4	アナフィラキシー	13
カボシー水痘様発疹症	1	多形滲出性紅斑	4
伝染性単核症	6	アレルギー性紫斑病	14
突発性発疹症	14	アトピー性皮膚炎	2
神経	203	蕁麻疹、薬疹	4
熱性けいれん	77	食物アレルギー	9
けいれん、けいれん重積	41	高IgM症候群	1
てんかん	34	結節性紅斑	1
意識障害	5	消化器	336
急性脳症、脳炎	11	胃腸炎(ロタ80名含む)	222
急性散在性脳脊髄炎	2	細菌性腸炎(カンピロバクター17、サルモネラ7、病原性大腸菌1を含む)	56
視神経炎	2	ケトン血性嘔吐症	9
ギラン・バレー症候群	4	胃食道逆流症	4
急性四肢麻痺	1	肥厚性幽門狭窄症	1
脳梗塞、出血	4	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	5
脊髄髄膜瘤	3	急性肝炎	5
脊髄係留症候群	1	メッケル憩室	1
顔面神経麻痺	3	イレウス	3
睡眠時無呼吸症候群	1	腸重積	14
硬膜下膿瘍	2	急性腹症	3
めまい	1	Hirschsprung病	1
眼振	1	食道閉鎖症	2
水頭症	1	急性虫垂炎	10
急性硬膜外血腫	2	呼吸器	634
急性小脳性失調症	2	気管支炎、肺炎	404
歩行障害	1	マイコプラズマ肺炎	120
適応障害	1		

起立性調節障害	2	クラミジア肺炎	8
内分泌・代謝	32	RS 細気管支炎	95
低身長	13	急性呼吸不全	3
汎下垂体機能低下症	4	気胸、縦隔気腫	3
甲状腺機能亢進症	2	喉頭軟化症	1
ペルオキシソーム病	1	心臓・循環器	35
ケトン性低血糖症	9	心房中隔欠損症	5
副腎皮質機能低下症	1	心室中隔欠損症	8
高インスリン血症	2	動脈管開存症	7
血液・腫瘍	30	左心低形成症候群	1
急性リンパ性白血病	3	総肺静脈還流異常症	1
悪性リンパ腫	5	肺動脈弁狭窄	1
骨髄異形成症	1	僧帽弁逆流	1
神経芽腫	2	大動脈弓離断症	1
頭蓋咽頭腫	1	肺高血圧症	1
下垂体腫瘍	1	PPHN	2
肺網状細胞腫瘍	1	拡張型心筋症	1
ウィルムス腫瘍	1	Shone 複合	1
肺腫瘍	2	WPW 症候群	1
喉頭腫瘍	1	不整脈	4
卵巣腫瘍	1	その他	67
仙骨部奇形腫	1	不明熱	7
好中球減少症	3	脱水症	5
特発性血小板減少性紫斑病	6	急性薬物中毒	11
遺伝性血小板減少症	1	体重増加不良	4
腎臓	37	正中頸のう胞	2
急性糸球体腎炎	2	ソトス症候群	1
IgA 腎症	1	ボツリヌス中毒	1
若年型のう胞腎	1	総排泄腔遺残	1
ネフローゼ症候群	4	好酸球性膿疱性毛包炎	1
急性腎盂腎炎	24	その他	34
水腎症	2		
膀胱尿管逆流	1		
腎臓結石	1		
血尿	1		

NICU・GCU 入院患者 (285 名)			
<出生体重別>			
超低出生体重児 (~999g)			5
極低出生体重児 (1,000~1,499g)			16
低出生体重児 (1,500~2,499g)			90
出生体重 2,500g 以上			174
<呼吸器疾患>	74	<消化器疾患>	16
新生児一過性多呼吸	23	初期嘔吐	6
重症新生児一過性多呼吸 (人工呼吸管理)	15	新生児メレナ	3
胎便吸引症候群	12	胃食道逆流	4
エアリーク	11	ダンピング症候群	2
新生児呼吸窮迫症候群 (RDS)	5	胎便病	1
慢性肺疾患 1 型	1	<血液疾患>	15
慢性肺疾患 3 型 (Wilson-Mikity 症候群)	3	多血症	8
DCH (diffuse chorioamniotic hemosiderosis) に伴う慢性肺疾患	1	先天性貧血	1
喉頭軟化症	1	播種性血管内凝固	1
声門下腔狭窄	1	双胎間輸血症候群	2
気管軟化症	1	ITP 合併妊娠	2
<循環器疾患>	25	遺伝性球状赤血球症	1
詳細は上記心臓・循環器に記載		<先天奇形、小児外科疾患等>	24
<感染症>	30	21 trisomy	1
新生児感染症	22	Sotos 症候群	2
新生児敗血症	4	VATER 連合	1
新生児 TSS 様発疹症	1	Goldenhar 症候群	1
腎盂腎炎	1	先天性食道閉鎖	3
先天性サイトメガロウイルス感染症	1	Hirshsprung 病	2
先天性カンジダ感染症	1	鎖肛	1
<中枢神経系>	26	先天性胆道拡張症	1
軽症新生児仮死	4	先天性水腎症	3
重症新生児仮死 (脳低体温療法)	1	仙尾部奇形腫	1
脳室上衣下出血	2	仙尾部 dimple (潜在性二分脊椎)	2
脳室内出血	2	口唇口蓋裂	4
脳室周囲白質軟化症	1	神経芽細胞腫	1
特発性脳梗塞	2	総排泄腔遺残	1
		<その他>	61

脊髄髄膜瘤	1	特発性新生児黄疸	39
先天性水頭症	1	重症黄疸 (溶血)	6
Sleeping baby	4	両側副腎出血	1
薬物離脱症候群	1	ミルクアレルギー	2
正期産児無呼吸発作	5	哺乳障害・体重増加不良	5
新生児発作 (特発性)	1	帽状腱膜下出血	3
先天性筋緊張低下	1	自宅分娩	3
<内分泌代謝>	19	好酸球性膿疱性毛包炎	1
特発性低血糖	7	特発性発疹症	1
高インスリン血性低血糖症	7		
ビタミンD代謝異常	1		
Refeeding syndrome	2		
先天性汎下垂体機能低下症	1		
晩期循環不全	1		

*** 外来患者数 (小児科) 年報 ***

対象年月:

2010年4月~2011年3月

小児科	診療 実日数	合 計				1日平均 患者数	紹介率	初 診 (再 掲)			再 診 (再 掲)			時間外 緊急入院
		合計	時間内	時間外	救急車で の搬送患 者(再掲)			合計	時間内	時間外	合計	時間内	時間外	
4月	22.5	2,658	2,050	608	96	118	83.3%	383	152	231	2,167	1,898	269	108
5月	20.0	2,646	1,805	841	141	132	100.0%	444	106	338	2,070	1,699	371	132
6月	23.5	2,411	1,894	517	99	103	81.0%	328	113	215	1,998	1,781	217	85
7月	23.0	2,443	1,804	639	116	106	69.6%	387	113	274	1,964	1,691	273	92
8月	23.0	2,265	1,697	568	95	98	74.2%	370	100	270	1,814	1,597	217	81
9月	21.5	2,208	1,705	503	91	103	80.0%	337	118	219	1,771	1,587	184	100
10月	22.0	2,283	1,760	523	90	104	83.6%	292	82	210	1,898	1,678	220	93
11月	21.5	2,338	1,745	593	98	109	77.1%	377	132	245	1,860	1,613	247	101
12月	20.5	2,718	1,921	797	129	133	89.6%	445	97	348	2,160	1,824	336	113
1月	20.5	2,642	1,899	743	132	129	73.4%	462	108	354	2,036	1,791	245	144
2月	20.5	2,527	1,833	694	137	123	75.2%	435	112	323	1,991	1,721	270	101
3月	23.5	3,315	2,506	809	165	141	75.6%	662	159	503	2,532	2,347	185	121
合計	262.0	30,454	22,619	7,835	1,389			4,922	1,392	3,530	24,261	21,227	3,034	1,271
平均	21.8	2,538	1,885	653	116	117	80.2%	410	116	294	2,022	1,769	253	106

*** 入院患者数 (小児科) 年報 ***

対象年月: 2010年4月~2011年3月

小児科	新入院患者数			退院患者数			入院実患者数	入院延日数	在院延日数	平均在院日数	一日平均患者数
	新入院	時間外		退院	死亡	転出					
		緊急入院	転入								
4月	232	108	0	221	0	2	232	1,708	1,487	6.6	49.57
5月	244	132	1	247	1	3	245	1,793	1,545	6.3	49.84
6月	183	85	1	196	0	3	184	1,564	1,368	7.2	45.60
7月	197	92	3	186	1	2	200	1,553	1,366	7.1	44.06
8月	151	81	3	162	0	4	154	1,439	1,277	8.2	41.19
9月	192	100	2	182	0	8	194	1,475	1,293	6.9	43.10
10月	193	93	4	183	0	4	197	1,610	1,427	7.6	46.03
11月	177	101	0	174	0	1	177	1,694	1,520	8.7	50.67
12月	201	113	1	212	0	4	202	1,693	1,481	7.2	47.77
1月	202	144	0	189	0	4	202	1,589	1,400	7.2	45.16
2月	212	101	2	209	0	1	214	1,611	1,402	6.7	50.07
3月	260	121	2	261	0	2	262	1,866	1,605	6.2	51.77
合計	2,444	1,271	19	2,422	2	38	2,463	19,595	17,171		
平均	204	106	2	202	0	3	205	1633	1431	7.1	47.07

※入院実患者数=新入院患者数+転入患者数

※入院実患者数には、繰越患者数を含めない。

主たる疾患別平均在院日数

急性喉頭炎、クループ	5.6日	腎盂腎炎	9.0日
気管支炎、肺炎	5.8日	無菌性髄膜炎	4.8日
R S細気管支炎	6.2日	細菌性髄膜炎	15.6日
アデノウイルス感染症	5.7日	敗血症	12.0日
インフルエンザ	4.7日	アレルギー性紫斑病	11.5日
喘息、喘息性気管支炎	5.9日	川崎病	13.4日
急性胃腸炎 (ロタを含む)	4.8日	脳炎・脳症	29.2日
細菌性腸炎	5.9日	極低出生体重児	75.3日
腸重積	3.6日	超低出生体重児	92.0日